

乳幼児や妊婦を救うために一国会議員の署名提出のお知らせ

福島県出身の国会議員を含め、27名の議員署名を官邸に送りました

福島原発事故による汚染が拡大する中で、避難指示区域の外側の区域に残された住民、とりわけ放射能の感受性が高い乳幼児・妊婦の健康が心配されることから、避難区域を拡大すること、乳幼児と妊婦の避難を優先することを求めて、市民団体4団体が提起し、国会議員署名の活動を行ってきました。署名活動は22日火曜日から連日市民10名以上があたり、活動の過程で、国会議員のはたらきかけもあって20キロから30キロ圏内の自主避難勧告がやっと出されました。

署名は、地元福島県選出の議員をはじめ、衆参合わせて27名の議員に署名をいただき、本日（3月25日）、総理大臣官邸にFAXで提出いたしました。私たちはさらなる避難区域の拡大を求めて、様々な形で、国会議員や人々にはたらきかけを続けていきたいと考えております。

※提出（3月25日）時点では26名でしたが、追加署名をいただき27名の署名として3月30日に再提出いたしました。

乳幼児や妊婦を救うために一国会議員の署名

内閣総理大臣 菅 直人 様

1. 早急に、放射線に弱い乳幼児と妊婦を福島原発30km圏から避難させること
(政府の現在の指示は、20～30km圏内は屋内退避です)
2. 20km圏内に限定された避難区域を抜本的に拡大すること

署名議員 26名

石原洋三郎 衆 (福島県選出)	太田和美 衆 (福島県選出)	
有田芳生 参	横峯良郎 参	松崎公昭 衆
又市征治 参	阿部知子 衆	中島隆利 衆
石川知裕 衆	稲見哲男 衆	相原史乃 衆
平山泰朗 衆	福島みずほ 参	照屋寛徳 衆
山内徳信 参	服部良一 衆	重野安正 衆
吉泉秀男 衆	平山 誠 参	古賀 誠 衆
橋本べん 衆	浅野貴博 衆	大河原雅子 参
福田衣里子 衆	吉田忠智 参	玉城デニー 衆
仁木博文 衆		

国会議員署名提起団体

原子力資料情報室 新宿区住吉町8-5曙橋コーポ2階B TEL:03-3357-3800 FAX:03-3357-3801

福島老朽原発を考える会 (フクロウの会)

新宿区神楽坂2-19銀鈴会館405号 共同事務所AIR気付 TEL:03-5225-7213/ FAX:03-5225-7214

グリーン・アクション 京都市左京区田中関田町22-75-103 TEL 075-701-7223 FAX 075-702-1952

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会 (美浜の会)

大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 3 階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581